


安全データシート

作成日 : 2010年2月4日, 改訂日 : 2014年7月23日

1 製品及び会社情報	
製品の名称	速乾名人
推奨用途及び使用上の制限	シーリング材用硬化促進剤
会社名	オート化学工業株式会社
住所	東京都台東区上野5 - 8 - 5
連絡先	03 - 5812 - 7310
緊急連絡先	生産本部 環境品質保証部 029 - 831 - 0913 (ファックス番号 029-831-0923)

2 危険有害性の要約				
重要な危険有害性及び影響	物理化学的危険性	極めて引火性の高いエアゾール		
	健康有害性	吸入すると有害		
特有の危険有害性	溶剤の蒸気と空気が混合して爆発性混合物を形成しやすい。			
GHS分類	物理化学的危険性	エアゾール	区分1	
	健康有害性	急性毒性(吸入)		区分3
		皮膚腐食性及び皮膚刺激性		区分2
		眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		区分2A
		特定標的臓器毒性(単回ばく露)		区分3
		特定標的臓器毒性(反復ばく露)		区分2
	環境有害性	非該当		
上記で記載が無い危険有害性は、区分に該当しない。				
GHSラベル要素	絵表示			
	注意喚起語	危険		
	危険有害性情報	<p>可燃性又は引火性の極めて高いエアゾール。 高压容器：熱すると破裂のおそれ。 吸入すると有毒。 皮膚刺激 強い眼刺激。 呼吸器への刺激のおそれ。 眠気またはめまいのおそれ。 長期にわたる又は反復暴露による臓器(肝臓)の障害のおそれ。</p>		
注意書き	<p>熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 使用後を含め、容器に穴を開けたり燃やしたりしないこと。 日光から遮断し50以上の温度にばく露しないこと。</p>			

	<p>保護手袋、保護眼鏡を着用すること。 蒸気の吸入をしないこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 火災の場合は適切な消火方法をとること。 内容物/容器を廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>
--	---

3 組成, 成分情報				
単一製品・混合物	混合物			
危険有害成分 (危険有害不純物)	酢酸エチル・すず及びその化合物(有機スズ化合物)			
組 成	化学名又は 一般名	濃度範囲 (wt%)	CAS 番号	官報公示整理 番号(化審法)
	3級ジブチルアミン	1~10	登 録	登 録
	有機スズ化合物	1~10	登 録	登 録
	酢酸エチル	50~60	141-78-6	2-726
	ジメチルエーテル	40~50	115-10-6	2-360

4 応急措置	
吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	汚れた衣類を脱ぎ、触れた部分を水又は微温湯で石鹸を使って洗い落とす。皮膚刺激が生じた場合、医師の手当てを受けること
目に入った場合	清浄な水で数分間注意深く洗うこと。 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診断を受けること
飲み込んだ場合	水で口の中を清浄にし、直ちに医師の手当てを受ける。

5 火災時の措置	
消火剤	炭酸ガス・泡・粉末・乾燥砂
使ってはならない消火剤	棒状水
特有の危険有害性	燃焼により、有毒ガスが発生する。
特有の消火方法	爆発性の霧が生じる為、漏洩部が塞がれる前に火災を消してはならない。可燃性のものを周囲から速やかに取り除くこと。
消火を行う者の保護	適切な保護具(防護マスク等)を使用し風上から消火する。

6 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	作業の際には、適切な保護具(手袋、ゴーグル、防護マスク)を着用する。
環境に対する注意事項	本製品を環境中(水域、土壌)に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の 方法及び機材	回収、中和:ウエス等で拭き取り、密閉容器に回収する。 二次災害の防止策:火気厳禁の処置をとる。

7 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	<p>技術的対策：換気の良い場所で取扱う。</p> <p>周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。</p> <p>静電気対策のために、装置、機器等の接地を確実にを行う。</p> <p>電気機器類は防爆型（安全構造）のものを用いる。</p> <p>工具は火花防止型のものを用いる。</p> <p>安全取扱注意事項：人に向けて噴射しない。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。</p> <p>接触回避：強酸化剤と混合接触してはならない。</p> <p>その他：高圧ガス取締法に準じた取扱いを行う。</p>
保管	<p>安全な保管条件：火気、熱源から遠ざけて保管する。</p> <p>子供の手の届かない所に保管する。</p> <p>通気の良い屋内貯蔵所に火気厳禁で保管する。</p> <p>混触禁止物質：強酸化剤と一緒に保管してはならない</p> <p>安全な容器包装材料：移し変えてはならない。</p>

8 ばく露防止及び保護措置	
許容濃度	<p>3級ジアミン：設定されていない (原料メーカーMSDS：2008/4/23による)</p> <p>有機スルホ化合物：設定されていない (原料メーカーMSDS：2009/2/26による)</p> <p>酢酸エチル：200ppm (日本産業衛生学会勧告値(2007)) (原料メーカーMSDS：2008/6/12による)</p>
設備対策	<p>火気厳禁の措置をとる。</p> <p>排気の為の装置を設置する。</p>
保護具	<p>呼吸器の保護具：必要に応じ有機ガス用防毒マスクを着用。</p> <p>手の保護具：必要に応じ手袋を着用する。</p> <p>目の保護具：必要に応じ保護眼鏡を着用する。</p> <p>皮膚及び身体の保護具：必要に応じ長袖を着用する。</p>

9 物理的及び化学的性質	
外 観	物理的状态：気体、色：乳白色
臭 い	芳香臭
融点・凝固点	酢酸エチル：-84
沸点,初留点 及び沸騰範囲	酢酸エチル・3級ジアミン：77.1~198
引火点	-2 (ジメチルエーテルを除いた原液)
爆発範囲	酢酸エチル：2.2~11.5vol%
蒸気圧	酢酸エチル：10kPa (20)
蒸気密度 (空気=1)	酢酸エチル：3.0
密 度	0.90 / 25 (ジメチルエーテルを除いた原液)
溶解度	3級ジアミン：溶解 / 水 酢酸エチル：8.1wt% / 水(20)

n-オクタノール/ 水分分配係数	酢酸エチル : log pow = 0.73
自然発火温度	酢酸エチル : 427

10 安定性及び反応性

反応性	通常の使用では危険な反応はない。
化学的安定性	通常の手扱いは安定。
避けるべき条件	熱、火花、裸火、高温、静電放電および衝撃又は混触危険物質との接触により、引火し火災の危険性をもたらす。
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	情報無し

11 有害性情報

急性毒性	3級ジアミン : LD ₅₀ (経口) マウス 540mg/kg 有機スルホン化合物 : LD ₅₀ (経口) ラット 175mg/kg 酢酸エチル : LD ₅₀ (経口) ラット 4940mg/kg 酢酸エチル : LC ₅₀ (吸入) ラット 16000ppm ジメチルエチル : LC ₅₀ (吸入) ラット 164000ppm
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	3級ジアミン : EMTを用いた50%水溶液24hr閉鎖貼付試験で紅斑と浮腫及び痂皮又は壊死が認められた。 有機スルホン化合物 : 人によって薬品かぶれを起こすことがある。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	有機スルホン化合物 : CERILハザードデータ集2001-67(2002)のウサギを用いた眼刺激性試験で回復機関の記載は無いが「重度の刺激性」の記述がある。 酢酸エチル : ウサギの眼に刺激が見られるが7日以内に回復。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データ無し
生殖細胞変異原性	酢酸エチル : 小核試験で陰性 3級ジアミン : Ames試験 (TA98, TA100) 陰性
発がん性	データ無し
生殖毒性	有機スルホン化合物 : CERILハザードデータ集2001-67(2002)の記述から、母動物での一般毒性に関する記述はないが、ラット胎児に奇形が見られた。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	酢酸エチル : 致死濃度に近い暴露で麻酔及び肺損傷が報告されている。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	有機スルホン化合物 : 実験動物については、「肝臓の軽微な変化と腎臓の尿細管への影響が見られている」(CERILハザードデータ集2001-67(2002))、「肝臓に影響を与え肝障害を生じることが有る。」(ICSC, 1994) 酢酸エチル : 375ppmから1500ppm数ヶ月間の作業ばく露では、異常や症状は示さない。
吸引性呼吸器有害性	データ無し

12 環境影響情報	
生態毒性	3級ジアミン : LC ₅₀ (96hrs) ヒメダカ 23.7mg/L 有機スズ化合物 : EC ₅₀ (24hrs) オキジソコ 0.94mg/ 酢酸エチル : EC ₅₀ (48hrs) 甲殻類ミジンコ 164mg/L
残留性・分解性	3級ジアミン : CO ₂ 発生試験(OECD301B) 87% (28日後) 有機スズ化合物 : 海洋汚染物質に指定されている。 酢酸エチル : 通商産業省の既存化学物質点検等において生分解性の良好なことが認められている。
生体蓄積性	有機スズ化合物 : 生物蓄積性は低い、金属化合物であり、水中での挙動が不明であることから区分1とした。
土壤中の移動性	データ無し
水圏層への有害性	モトリオール議定書に記載されている物質の使用はない。

13 廃棄上の注意	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄する時は缶に穴を空けずに中身を全て使い切ってから下記の処置を行うこと。 ・ 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。 ・ 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。 ・ 排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、専門業者に処理を委託する。 ・ 最終処分場：管理型処分場 	

14 輸送上の注意	
国連番号	1950
品名(国連輸送名)	エアゾール
国連分類	2 - 1 (高圧ガス・引火性)
容器等級	
海洋汚染物質	該当
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	航空法に定めるところに従う。

15 適用法令	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防法：危険物第4類第1石油類（非水溶性液体）危険等級 ・ 危険物船舶輸送及び貯蔵規則：高圧ガス・引火性のもの（クラス2.1） ・ 有機溶剤中毒予防規則：第2種有機溶剤（酢酸エチル） ・ 労安法：表示対象物質（酢酸エチル） 通知対象物質（酢酸エチル・すず及びその化合物） ・ PRTR法：第一種指定化学物質（有機スズ化合物 1.1wt%） ・ 毒物及び劇物取締法：非該当 ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従う。 	

16 その他の情報	
出典	原料メーカーのMSDS NITEのGHS分類結果データベース
その他	ホルムアルデヒドの発生、及び石綿の使用は無い。

【注意】

- ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。尚、新しい知見により改訂されることがあります。
- ・注意事項は通常の実用を前提としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないで下さい。